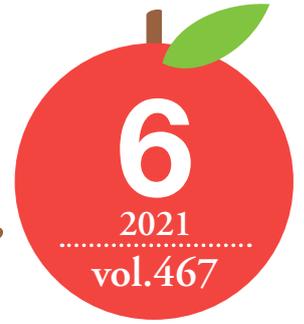


林檎の森

りんごのもり



特集

適切な廃プラスチック処理で 持続可能な社会を



適切な廃プラスチック処理で

持続可能な社会を

プラスチック問題が 世界で深刻化

プラスチックは自然界で分解されにくい特徴を持ち、不法投棄や

ポイ捨てにより水質汚染や土壌汚染をもたらし、時には海洋まで流出し海洋汚染や生態系へ影響を及ぼしています。また、燃やすと地

者は安定して食料を供給することに加え、環境に配慮した生産活動を行う事が求められています。

廃棄物の管理と 適正な処分

球温暖化の原因となる温室効果ガス(CO₂)が多く発生するため、国際的に大きな課題として問題視されています。農業生産においても農薬の容器包装や生産資材としてプラスチックが使用され、不法廃棄については厳しい罰則が定められていることから、責任を持つて適切に処理することが必要です。また、近年話題となっている『SDGs』においても、私たち農業

農業によって生じた廃プラスチック類は産業廃棄物となるため、廃棄物の回収・処理業者に処分を委託する必要があります。廃棄物の保管と処理方法が不適切な場合、環境汚染のみならず、周りの住民にも被害を及ぼす危険性があるため、廃棄物が処分されるまでの間、

罰則 (第二十五条)

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」において、違反した場合は1年～5年以下の懲役若しくは1千万円以下の罰金に処し、又はこれを併科する。

と定められています。

SDGs とは「持続可能な開発目標」

簡単に言うと「世界中にある環境問題・差別・貧困・人権問題といった課題を、世界のみならず2030年までに解決していこう」という計画・目標のことです。

※持続可能な開発目標には17の目標があり、「つくる責任、つかう責任」や「気候変動に具体的な対策を」等といった課題を解決するための目標が掲げられている。

本年より5月下旬の収集日を追加

	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
薬剤散布			○	○	○	○				○	○	○			○	○	○	○						
旧体制												◆												◆
新体制						◆						◆												◆



容量：90ℓ（ヨコ900×タテ1000厚さ0.045mm）
ホームセンター等で購入可能です

廃プラ管理の検証

責任を持って安全に管理しなければなりません。農薬を含む廃液は水路や河川へ流出がないように注意し、空容器の不法な焼却等は絶対に止めましょう。

農業用プラスチックの適正な処分を推進するため、当JA管内で

最大規模の長慶共防にご協力いただき、保管方法と管理状況を検証することにしました。

長慶共防では約40haの栽培面積を管理しており、1回の散布で200〜240杯、年間で約2,520杯分の薬剤散布が行われ、膨大な量の農薬容器が排出されます。

フレコンバックを用いて保管することを考えましたが、容器をゆすいだ後のわずかな廃液が残っていた場合に外部へ流出するリスクが出てきました。また、廃プラ収集は透明なビニール袋に入れた状態で処分しなければならぬため、薬剤調合の際に容器をゆすいだ時点でビニール袋に入れることになりました。保管する時は外部へ流出しない場所を考慮した上で、フレコンバックに入れ二重で保管を行いました。また、プラスチック容器と粉剤の袋は同じ袋に入れるとかさばってしまうので、容器ごとに分別して場所をとらないように

工夫しました。

しかし、共防内で容器の保管は可能であったものの、近年のリンゴ黒星病防除の徹底により農薬の散布量・散布回数が増加していることで、農薬容器の排出量も増えていきます。長慶共防においても、5月上旬の時点で、これ以上の保管場所の確保は困難だという声もあがり、これまでの7月と11月の年2回の体制では、大型共防に対応することが出来ないことが分かりました。

そこで当JAではこの状況を改善するため、新たに5月下旬にも廃プラ収集日を設けることにしました。

その結果、管内最大の共防においても、次回の廃プラ収集まで継続して保管場所を確保することができました。

成田達也共防長からは「これまででは薬剤散布を実施した後、膨大

長慶共防における廃プラの管理体制



4

最終的にフレコンバックの中で保管することで外部流出を二重に防ぐ



1

薬剤の空になった容器は丁寧に水でゆすぎ、透明な袋に入れて分別



5

近くに河川がある場合は農薬が流出しないように離れた場所で保管しましょう。



2

容器の中身が空であることを確認し、キャップは外す



6

収集日にはフレコンバックから取り出し、中身が見える状態で収集場へ運搬



3

分別後はしっかりと口を結び、包装形態ごとにまとめる



注1) 容器は透明な袋に入れ、肥料袋は重ねて結束する



注2) 枝受け支柱はサポットを外し、分別してから結束する

～廃プラ取扱品目～

- ▶ 農薬空容器
- ▶ 肥料袋
- ▶ 反射シート (タイベック不可)
- ▶ 枝受け支柱
- ▶ アルミ製ハシゴ
- ▶ マルチ等の農ポリ

etc...

注意)

泥、水、農薬などの付着混入や汚れのひどい物、農業用以外の物は回収出来ません。



注3) マシン油は蓋を外す

な量の農薬容器を処分する方法に苦慮していた。廃プラ収集を利用するにあたり、農薬容器を保管する場所に不安があったが、周りに影響を与えない状態・場所であれば屋外でも問題なく保管できるところが分かれば自分達でも取り組めると感じた。

また、作業面でも片付けに手間が掛からなくなり、以前よりも作業が楽になった。これからも継続して取り組みを続けて行きたい」と意欲を見せていました。

持続可能な取り組み

私たちが農業を営む上で、農業や生産資材は必要不可欠です。生産活動によって生じた廃棄物は、責任を持って適正に処分する義務があり、廃棄物を不適切に処分することは農業を営む中で改善する必要があります。

今回の検証結果を踏まえ『廃棄物の適正処分』は、共防や個人の誰でも可能であることがわかりました。保管場所については個々の事情によって工夫が必要な場合もありますが、今回の事例を少しでも参考にいただければ幸いです。

まずは、私たちが出来ることを1人1人が行動に移し、環境にも配慮した生産活動を行っていきましよう。

今回の廃プラ収集は7月下旬を予定しておりますので、積極的にご利用くださるようご協力お願い申し上げます。

topics

りんご樹で
フクロウの雛育つ

01

前相馬地区の柴田康平さんの園地では、3月上旬から5月末までフクロウの雛3羽がりんごの樹の空洞に住み着いていた。

もぞもぞと動く雛の巣の周りを、鋭い目をした親フクロウが警戒していた。

園主の柴田さんは「何年か前もフクロウが同じところに住み着いたことがあった。その時はネズミの被害も少なく大変助かった。これからもフクロウが住みやすい環境を作っていきたい」と話していた。



洞からフクロウの雛が顔をのぞかせる

topics

摘花作業が
ピークを迎える

02

管内の生育が早い場所では摘花作業が最盛期を迎えていた。5月上旬からの気温が20度越を記録し、適度な降雨があった事からりんごの生育は順調に進んだ。

生産者は「急な気温の上昇により、朝と夕方では様子が変わっている程生態が早く進んでる。これから生態に合わせて作業が遅れないよう安全に進めていきたい」と話していた。



摘花作業に精が出る生産者ら

topics

「青天の霹靂」
田植え開始

03

5月16日、ライスロマッククラブが青天の霹靂の田植えを開始した。今年は育苗期間中の根詰りや、大雨で作業が順調に進むのか不安視されていたが、無事に作業が終了した。

作業中には大場勉組合長と三上隆基専務が現場へ様子を見に足を運び、作業員らの労をねぎらっていた。大場組合長は「苗の生育と田植えのタイミングを合わせる事は難しいが今回も上手く進んで良かった。今年の出来秋に期待したい」と話していた。



進行状況話し合う大場組合長と三上専務

topics

市長現地視察に訪れる

04

5月17日、藤沢地区の林崎孝人さんの園地にて櫻田宏弘前市長が霜の被害や現在の生育状況などを確認した。

櫻田市長は「家族経営で更に後継者もいるということで、安心して農業に取り組めると思います。相馬管内も若い農業者がいて聞いたので地域の活性化にも期待したい」と林崎さんと話し、相馬のりんご産業の未来を楽しみにしていました。



生育状況を林崎さんと確認する櫻田市長（写真右）

安定した除草剤散布

05

5月26日、紙漕沢地区の成田祐介さんの田園にてドローンを使用した除草剤散布を行った。

ドローンを使つての除草剤散布は管内では初めてであり、当日は風が強かったが、オペレーターは長年の経験と勘で問題なく散布していた。

園主の成田さんは「ここまで風の影響を気にすることなく、均一に散布することが出来るのはとてもいい。今後も利用したい」と話していた。



散布の状況を確認する成田さん（写真左）

実すぐり巡回講座開催

06

5月26日、紙漕沢りんご支会が実すぐり巡回講座を行った。

りんご協会理事の山本富幸氏が他管内の生育状況やこれからの作業について説明。その他、農業振興課から紙漕沢地区の生育状況、販売課から販売情勢等の説明もされた。

成田要支会長は「毎年会員らはこの講座を楽しみにしている。タイムリーな話題を細かく聞くことが出来て良かった」と喜びを語った。



実すぐりの要点やコツを確認する会員ら

直売所「林檎の森」

副リーダー 三上翔平



いつも直売所「林檎の森」をご利用いただきありがとうございます。

店内では地場産の葉物野菜やアスパラ、スティックブロッコリー、はつか大根などが沢山出荷されています。季節の変わり目の風邪や、コロナウイルス予防のため、新鮮な地元の野菜をたくさん食べて体の免疫力を高めましょう。

そのほかにも山菜の「ミズ」がたくさん入荷しています。「ミズ」はシャキシャキとした食感とみずみずしさが好評で地元の方から県外の方まで購入しています。電話での問い合わせも多く、地方発送でもたくさん注文が来ており、山菜の中でも根強い人気となっています。定番のさざなみの和え物や、油揚げとの炒め物等作ってみてはいかがでしょう。ワラビやふきの出荷のピークは過ぎましたが、こちらも様々な料理に使うことが出来ることから好評となっております。一度にたくさん購入する方が多く

見られます。

そのほか、ワラビなどの山菜の水煮もあり、煮る手間を掛けず料理できるものもあります。

今年もサクランボの美味しい季節がやってきます。一昨年迄の様に直売所前での販売予定はありませんが、店内には美味しいサクランボが沢山入荷する予定ですので楽しみにしてください。御来店を心よりお待ちしております。

はシャキシャキとした食感とみずみずしさが好評で地元の方から県外の方まで購入しています。電話での問い合わせも多く、地方発送でもたくさん注文が来ており、山菜の中でも根強い人気となっています。定番のさざなみの和え物や、油揚げとの炒め物等作ってみてはいかがでしょう。ワラビやふきの出荷のピークは過ぎましたが、こちらも様々な料理に使うことが出来ることから好評となっております。一度にたくさん購入する方が多く



天然の「ミズ」が店内に沢山並ぶ

果実販売動向

販売課 田中瑠偉



5月の果実動向は、二極化での展開となりました。イチゴが終盤を迎えて売り場は縮小される中で、スイカについてはカット売りを中心に売場が拡大され、入荷量の少なから単価高での推移となりました。メロンの売り場も拡大され

たほか、輸入果実が売場のメインとなつていますが、GW連休中の外出自粛の反動もあり、果実の消費は比較的順調に推移しました。サクランボやマンゴー等の施設物については、母の日需要から引き合いの強い状況となりました。

一方、リンゴについては気温の上昇とともに、サンふじの内部褐変によるクレームが多いことから、内部障害についての詳細説明と商品交換・返品を表示をしながら、値ごろで企画販売していましたが、店舗によっては販売中止や、大幅な売場縮小、冷蔵ケースへ移行さ

れるなど、さらに荷動きが滞り、厳しい販売となりました。

有袋ふじやジョナゴールドについては、中・小玉果を中心に品質が安定していることから、売場が確保されていますが、大玉果については比率の高さと品質懸念から下げ基調の展開となり、リンゴの総体量の多さから前年を大幅に下回る単価推移となりました。

今後、スイカ・メロンについては梅雨による低温の影響やこれまでの高値疲れで荷動きが鈍化し、下げ基調で推移することが予想されますが、引き続き安定した入荷が見込まれることから売場は維持される見通しです。

輸入果実については、安定した入荷から引き続き値頃感のある販売となっていることから、キウイ・オレンジ等を中心に堅調な販売が見込まれます。リンゴについては

イメージが悪いことに加えて、売場が狭いことや小売価格が高いことから、大玉果を中心に荷動きはさらに停滞し、中・小玉の引き合いが予想されます。

当JAでは王林が終了し、残すところサンふじや有袋ふじ、シナノゴールド、ジョナゴールドの約6万ケース（5/31現在）の販売となります。

終了まで、品質管理の徹底と売場を確保しながら、相場の維持を図ります。



出荷予定に合わせてサンふじの検品作業が行われる

単価は全農あおもりデータ（5月31日累計）在庫数量は県りんご果樹課作成（4月末）

品 種	サンふじ	ふ じ	王 林	ジョナ	その他	合 計
単 価 (円)	2,459	3,740	2,684	3,090	2,692	2,572
前 年 比 (%)	77	82	89	81	91	81
在 庫 数 量 (ト)	13,418	26,559	5,047	11,267	5,685	61,976
前 年 比 (%)	1,761	132	174	164	210	185

いきいき女性部通信

事務局 桑田歩



女性部では、5月12日に弘前市立相馬小学校の3年生の児童12名に、りんご栽培授業としてりんごの授粉作業の指導をしました。

授業では農業振興課の米澤松太主任が先生を務め、花の拡大写真を使って器官名や授粉作業の重要性を説明してくれました。

その後児童は、授粉セットを持ち、作業に取り掛かりました。参加した田澤真由美部長は、児童らと一緒に花粉のつける場所やつけ方の説明をしながら、一緒に作業をしました。指導している時の児童らは真剣な表情で、その様子を見た田澤部長はとても嬉しそうでした。

作業終了後、児童から「1つの花に何回も花粉を付けるとりんごが大きくなりますか」「1本の樹で授粉作業はどの時間がかかりますか」などといった質問が寄せられ、児童らはりんご栽培に興味を持ち始めた様子でした。



花の器官名をクイズ形式で学ぶ児童ら



中心花を教えながら指導する田澤部長

田澤部長と児童らの授粉作業動画です。
(wi-fi 環境での読み込みをオススメします。)

作業終了後に田澤部長からジュースのプレゼント ▶



天ぶら界の巨匠に教わる 野菜天ぶら

わたしの家の光 ミカタ

“家活”で おうち時間を 楽しもう!

コロナで外出ができないので『家の光』をしっかり読んでいます。知らなかったことがいっぱいです

毎号興味のある特集が掲載され、読むほどに新発見があり楽しく学べます

家の光	定価(税込)
普通月号	629円
付録月号(1・4・5・7・9月号)	922円
付録月号(家計簿付き12月号)	1,027円

お申し込みはお近くのJA本・支店(所)へ
JAグループ 家の光協会 〒162-8448 東京都新宿区市谷船河原町11
 TEL 03-3266-9039 <http://www.ienohikari.net>

農業振興課主任 米澤 松太



○りんご作業 (6/15~7/15)

管内のりんごの肥大状況は、5月31日現在でふじが17.5ミリ(管内平均)と5日程度早い生育となっております。

今後は、高品質果実生産のため成らせ過ぎに注意し、適正着果に努めて下さい。

○黒星病に注意しましょう

黒星病の生態は気温が20℃以上になると動きが停滞すると言われていますが、低温で降雨がある場合は胞子が飛散されるため注意が必要です。

黒星病の被害葉・被害果は菌密度低減のため、摘み取り適正に処分して下さい。散布ムラを少なくするため適正な散布量と散布速度を守り、降雨がある場合は雨前防除に努めて下さい。

○水稻

苗の活着後は、平均気温が高い時は浅水にして分けつを促進し、逆に低い時は深水にして低温障害の発生を防ぎましょう。なお、水の掛け流しはしないようにしてください。

移植後の水管理は、天候の良い日は2~3cmの浅水にし、低温が続くときは5~6cmのやや深水にして、分けつを促進して下さい。また、除草剤の効果を持続させ

るため、田面がでてくる時は、水を静かに足してください。

○袋を掛けてみませんか？

りんごのつる割れ軽減や品質向上のために、作業面に考慮しながら有袋栽培に取り組んでみてはいかがでしょうか。

袋かけは早いほど着色向上の効果が高まります。そのため、遅くとも7月中旬までに袋かけを終了して下さい。被袋期間は最低でも75日以上を確保して下さい。(平年75日~85日)

※ジョナゴールドは落花30日頃から実施
ら実施

※ふじは落花35日後頃から実施

また、遮光性の高いものは、除袋時に日焼けが発生しやすくなり、高温時にも障害が発生する恐れがあるので注意しましょう。

袋を掛ける際にはすす斑・すす点病に注意して下さい。袋かけ前の薬剤散布は果実にも十分付着するように丁寧に散布し、散布後5日以上経過して袋をかける場合には再度実洗いを実施して下さい。

管内のりんご肥大状況 (5月31日調査)

	湯口	紙漉沢	相馬	平均	昨年	平年
ふじ	19	17	16.4	17.5	12.0	13.6
王林	24.1	18.5	20.3	20.9	15.4	16.0
つがる	20.6	16.2	17	17.9	13.8	15.1

※単位は (mm) 平年値は過去10年間の平均値

散布計画

回数	散布量	散布時期	基準薬剤	希釈倍数	備考
7	500㍓	7月上旬	オキシラン イカズチWDG ウララDF カルシウム剤	500倍 1500倍 4000倍	○輪紋病の重要防除時期となるので、有効な薬剤を降雨前に散布して下さい。
8	500㍓	7月中旬	キノンドー顆水 ユニックス顆水 トランスフォームF カルシウム剤	1000倍 2000倍 4000倍	○褐斑病対策としてユニックス顆水2000倍を加用。

りんご病害虫防除暦 (第7回目~8回目)

所員 千葉翔平



いつもJA-SSSを変わらずにご利用いただき誠にありがとうございます。

平素から携行缶のガソリンの購入（混合油も含む）の際に、身分証の提示と使用目的の確認及び記録の記入、スタンドスタッフによる携行缶の詰替えにご理解、ご協力いただき大変ありがとうございます。また、最初の一度だけではなく、購入の都度身分証の提示、使用目的の確認のため、記録用紙への記入のご協力をお願いします。使用される容器におきましても消防法適合品ではない物の場合は購入をお断りいたしております。ご理解のほどよろしくお願い致します。

詰替え用の携行缶は5ℓや10ℓ、20ℓは当スタンドで販売しておりますのでお気軽にスタンド従業員にお申し合わせください。

今年も洗車祭りを7月2日から8月27日の毎週金曜日に開催します。ティアラコートプレミアムとシルキーW撥水コートが定価より500円引きでご利用いただけます。ぜひこの機会に洗車してみてくださいいかがですか。

その他イベント開催については、店頭に掲載しますので、お立ち寄りの際はお見逃し無しようお願いいたします。

そして、皆様にお願いがあります。洗車のタオルの盗難が多発しております。使用後は必ず返却くださるよう重ねてお願い申し上げます。これからも当スタンドのご利用をスタッフ一同お待ちしております。

7月 イベントカレンダー

日	月	火	水	木	1	金	2	土	3
					1	2	3	4	5
					6	7	8	9	10
					11	12	13	14	15
					16	17	18	19	20
					21	22	23	24	25
					26	27	28	29	30
					31				

青年部通信

事務局 小野 朋宣



青年部では、5月14日にもち米の田植えと相馬ごども園の草刈りと畑の耕起を行った。

この日は17名の部員が集まり、田植え班とごども園班に分かれ、同時進行で作業を進めた。

田植え班は、まず畦畔や周辺の草刈り、隣接する園地への漏水防

止の為の波板を差し込む作業等を行った。

植える際には、昨年は水が溜まって深い箇所には上手く植える事が出来なかった事から、水抜きを早めに行つて対策をした。しかし、今年も問題になっていた箇所に植えた苗は浮いてきていた。

今年は溝切りなどで水切りを早める等の対応を検討し、無駄なく植えることが出来るように改善したいと役員一同話していた。

また、もち米は例年とは違う床土で播種を行った為生育が心配されていた。出来上がった苗を見て、「例年に比べ苗は短い、問題はない生育になっていて良かった。」と安堵の表情を浮かべていた。



協力して力強く波板を差し込む部員ら

田植えの様子をドローンで撮影しましたのでご覧ください。

(wi-fi 環境での視聴をお勧めします。)



順調に苗が植えられていく様子を見守る部員



今年も愛情たっぷりに
田植えをしました。
今年も沢山
買って下さい!!

地域おこし協力隊 活動記 Vol.73



『りんご花まつり』に、相馬地区から出店してまいりました。



作成の様子🍎



◆りんごの紙漉き体験（5・9日）
相馬ではおなじみの紙漉き体験ですが、

5月5日（水）～9日（日）に開催されました『弘前りんご花まつり』の模様をお知らせ致します！
相馬地区からは、『りんごの紙漉き体験』と『芽女倶楽部の商品販売』で、紙漉きの皆さんや石田さんと共に出店してまいりました。



乾かします♪



りんごの木枠もご用意🍎

◆芽女倶楽部の物販（8・9日）
紅玉のアップルパイやタルトタタン、

花まつり会場でもたくさんの方々にご体験していただきました。
この日の為に作成したりんご型の木枠もとても人気でした♪
当日はもちろんですが、りんごの木枠を木工品店に依頼したり、りんごの花の押し花を作ったりと、皆さんの笑顔を感じ浮かべながらの作業も、とても楽しかったです！



乾いたらりんごの剪定枝や押し花を貼り付けて完成です🍎



押し花用のりんごの花を提供してくれた協力隊仲間の永井さん♪

◆ポン菓子グラノーラのテスト販売（8・9日）
相馬地区で収穫されたお米でポン菓子のグラノーラ作りをしています。テスト販売での手応えを、今後に活かしたいです！
直売所で販売できるようになったらまたお知らせしますね☆

焼きりんご、竹の子ご飯、ナンバ醤油煮を販売☆対面販売を通して、リピーターさんの嬉しいお声も聞けました！



相馬の紙漉き作品は御所温泉で見られます♪
（R3.5現在）



芽女倶楽部の商品♡



ポン菓子グラノーラ4種☆

(*) 相馬地区公式HP (<http://www.city.hirosaki.aomori.jp/soma/>)



農協役員室で——ネズミ盗聴記

元農協学園長
秋田 義信



農協の役員室。今日もマムシ、マメコバチ、油売りが居て、ゴダグをしゃべっている。いずれも畠から脱出してきた人たち。

油売り「この間、マチの図書館へ行ったら、昭和二年現在の、各市町村の多額納税者が載っている本があった」

マメコバチ「オラ方のものも載っていたか」

油売り「ウン。載っていた」
マムシ「早グ、シャベロジャ」

油売り「ウン。中沢豊吉、成田藤吉、中沢清十郎、三上健三郎、山内勝實、田沢要助、田中才太郎、成田重雄、大場徳太郎、大場久吉、米沢孫吉、三上元造、山内卯吉など」

マメコバチ「オラ方のムラに、マッカーサーの命令による「農地改革」

で、強制的に、タダ同様に小作人（借地農家）に渡された家があったのか」

油売り「その大地主は中郡では船沢村の高谷家だそつだ」

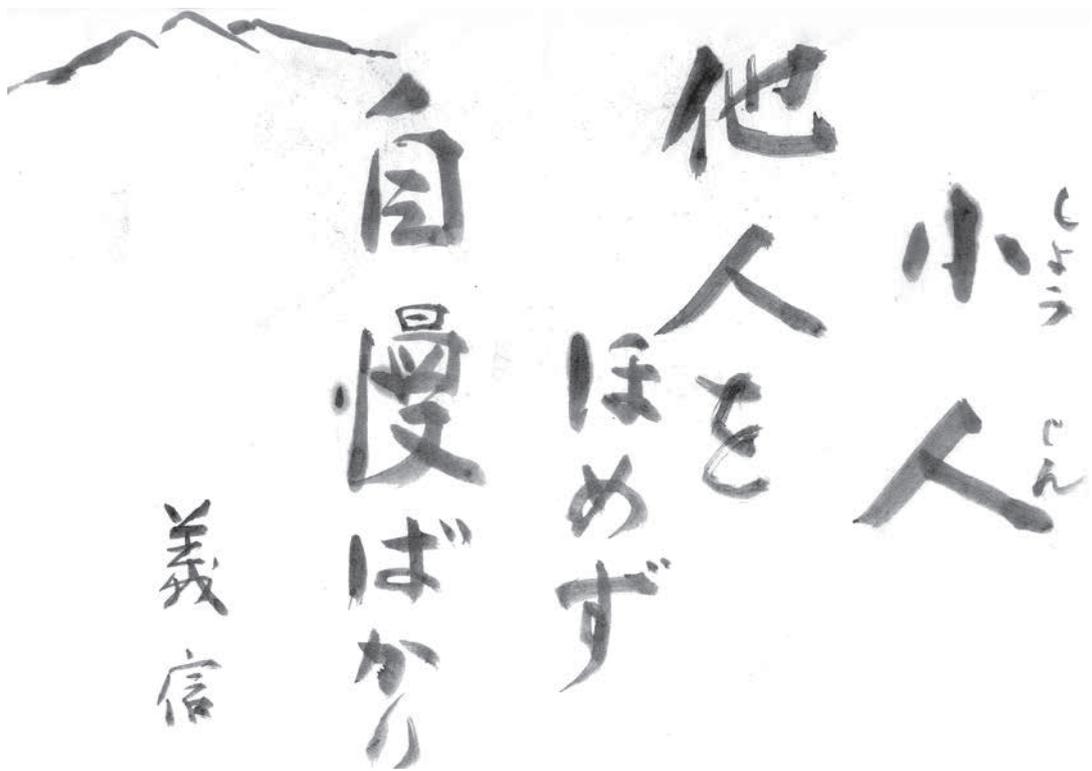
マムシ「ところで、衆議院の選挙があるな。盆の前か後か」

マメコバチ「世論調査では、菅内閣の支持率が落ちているな——」

油売り「又、安倍を、という声が自民党の中にあるとか」

マムシ「菅は苦勞人で努力家ではあるが、人相が暗くてな——」

油売り「三村知事の顔を半分くれてやればいいよ」



編集部のつづき～編集後記～

いつも広報誌「林檎の森」をご講読ありがとうございます。
 今月号では、廃プラ事業の特集を組ませていただきましたが、実際に一回収集日が増えたことで助かり、作業もしやすくなったという意見を今回頂いたことで、これからも継続していくメリットが見つかった気がしています。組合員全員がこの取組に参加する日を目指してこれからも周知していけたらと思います。
 新型コロナウイルスに関して明日は我が身だと思いながらしっかりと対策して過ごしていきましょう。
 来月号もご講読の方よろしく申し上げます。 By tomoshi

理事会だより

4月20日(火)

- 1) 4月末残高試算表について
- 2) 出資金減口について
- 3) FinTech企業等との連携及び協働に係る方針の改正について
- 4) 貸付関係について
- 5) りんご販売関係について
- 6) ライスセンター更新設計業者の選定について

- 23 22 20 18 16 14 12 10 8 7 6 3 1
- 1 仙人が食べているというもの
 2 学校を出て家まで帰ること
 3 年齢を数えるときに使う言葉
 4 ラジオから1970の曲が流れてきた
 5 この虫が作る繭から絹が取れます
 6 下から5桁目です
 7 ものは——だ、まずやってみよう
 8 サーフインやヨットを楽しむ場所
 9 「やれ打つな蠅(はげ)が手をすり足をすり」
 10 は小林——の句です
 11 日本髪に挿す飾り
 12 ゆでたそづめんの水を切るときに使います
 13 親同士が兄弟姉妹です
 14 将棋に似た西洋のゲーム

- 21 20 19 17 15 13 11 9 7 5 4 3 2 1
- 1 雨や日光を避けるために差します
 2 緑に黒のしまがある果実
 3 増(ぞう)の反対語
 4 ヤッホーと叫ぶとヤッホーと返します
 5 片目をパチンとつづります
 6 キャッツアイとも呼ばれる宝石
 7 木材を薄く加工した物
 8 一つ目小僧とか小豆洗いとか。——変化
 9 量より重視されることもあります
 10 爽やかな香りのするハーブ。ペパー——
 11 つぼ焼きにするとおいしい貝
 12 漢字で書くと雑魚。取るに足りないもの
 13 こと
 14 みんな出掛けている状態

【タテのカギ】

パズル? 頭の体操

出題 ニトリ

Q 二重マスの文字をA～Dの順に並べてできる言葉は何でしょうか?

【ヨコのカギ】

1	6		11	14	18	22
2		8		15		
		9	12		19	
	7			16		
3			13			23
4		10		17	20	
5					21	

答えは広報「林檎の森7月号」にて掲載いたします。
 5月号の答え A:ミ B:ズ C:タ D:マ E:リ

表紙物語

今月号の表紙は、5月18日に行われた相馬ごども園の年長の園児が野菜の定植を真剣な眼差しで取り組む様子である。

この活動は毎年行っていたが、去年行うことが出来ずに寂しい思いをしていた。今年は活動することが決まり、園児ら12名はとても楽しみにしていたと言った。

定植にあたり青年部が畑の耕起と草刈りをし、女性部員3名が定植を指導した。園児の中には、青年部員や女性部員の作業を見て「パパだー」「隣のおばさんだー」と元気に声をかけていた。

平田留美子園長先生は、「定植から収穫までの大変さ、自分の口に入るまでの過程を体験させ、有意義な食育にしたい。今回は園児の要望でカボチャを植えたので、カボチャの収穫は特に楽しみにしています。」と話していた。

このように青年部と女性部の連携による地域との触れ合いで、更に地域の活性化に繋がるように精進して参ります。



愛情を込めて丁寧に畑を起こす青年部員



スイカを園児と一緒に植える女性部員



パパ頑張れー!!



これ大きいジャガイモになるかなあ

JA相馬村広報

林檎の森 りんごのもり

2021.6 Vol.467

■発行者
相馬村農業協同組合
〒036-1593 青森県弘前市大字五所字野沢23-1
TEL.0172-84-3215 FAX.0172-84-3497

■編集
総務課広報
ホームページURL <http://www.ja-souma.or.jp/>
e-mail:soumuka@ja-souma.or.jp

■発行日
2021年6月15日

JA 相馬村概況

〈令和3年5月末日現在〉

組合員数…………… 865人
（うち准組合員数 …… 373人）
出資金…………… 621,020千円
貯金額……………9,521,244千円
共済保有高……………3,234,152万円